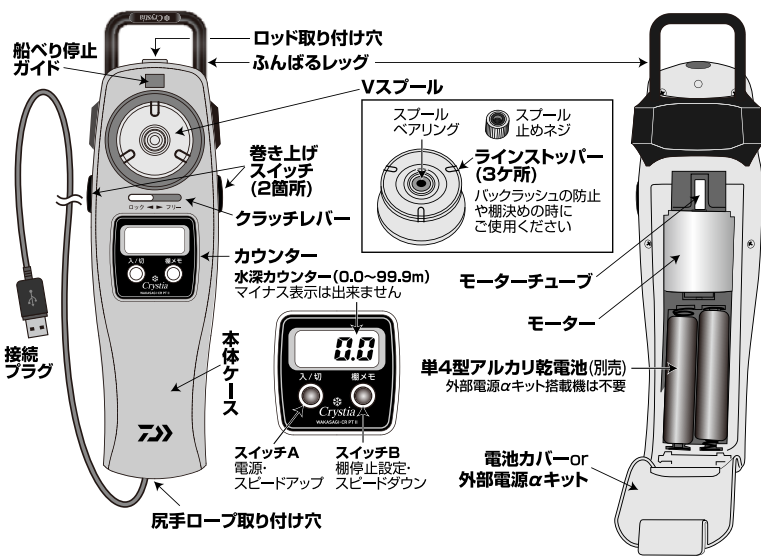


各部の名称



	CR III+	CR PT II+	CR PT IIα
電池カバー	●	●	
外部電源αキット			●
ふんばるレグ			●

※カウンターはあくまでも目安となります。穂先の巻き込みなどの破損に関しては一切責任を負いませんので、船べり停止機構を有効にお使いください。

※巻き上げボタンを使用時のクラッチON動作は電池残量が少なくなると、作動しなくなります。その際は、新しい電池に交換してお使いください。

※電源オートOFF機能
電源ONの状態、1時間カウンター・モーターの動きが無いと自動的に電源OFFとなります。(その際は水深カウンターもリセットされますのでご注意ください)

※モーターリミッターについて
スプールの回転が止まっているのに、モーターを動かそうとすると1秒後にモーターが停止します。スプールを回転させると復帰します。

※糸の摩擦により静電気が発生し、極稀に電子回路に影響が出る場合があります。その際は、一度電源を切り、再度設定し直してください。

各部の働き

1 水深カウンター

10cm単位で表示します。カウンターは目安となります。糸の巻き込み過ぎにご注意ください。
船べり停止機能は3種類あります。巻き過ぎると竿を破損する事があります。ご注意ください。船べり停止ガイドにビーズなどを当てて止めると、カウンターはゼロになります。(オートリセット機構)
※糸を出している際に、船べり停止ガイドを押すとカウンターがゼロになります。

2 巻き上げスピード調整

外部電源と単4電池では電圧の違いで各種巻き上げ・誘いスピードに差がでます)

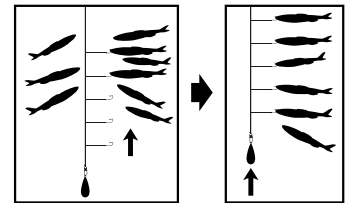
5段階で変更可能です。初期通電時(最低スピード) スイッチA: → スイッチB: (モーター回転時のみ)
スイッチAを押すと、スピードが上がっていきます。最大スピード時(H)に押し、最低スピード(L)になります。また、モーター回転中にスイッチBを押すと逆にスピードが下がっていき、最低スピード時(L)に押しと最大スピード(H)になります。低速使用時は、多点掛けや他の魚など負荷が掛かると巻き上がらない場合があります。その際はスピードを上げて巻き上げてください。(負荷状況などによりスピードが大きく変化しない場合があります。)

3 巻き上げスイッチ

左右どちらかのスイッチを押すとチョイ巻きになります。1秒以上巻き上げスイッチを押すと連続巻きになります。再度巻き上げスイッチを押すと解除します。

4 追い食い巻き上げ

左右の巻き上げスイッチを同時に押し、スロースピードで巻き上げることで他のハリに追い食い(多点掛け)を促す、「追い食い巻き上げ」になります。巻き上げ中にスイッチAを押すと、スピードアップ。スイッチBを押すとスピードダウンします。(10段階変速、初期設定5)。次回からは指定したスピードで追い食い巻き上げを行います。再度左右どちらかの巻き上げスイッチを押すと追い食い巻き上げ解除になります。1秒以上巻き上げスイッチを押すと連続巻きになります。再度巻き上げスイッチを押すと解除します。追い食い巻き上げは、スピード・負荷などにより一定スピードで巻き上げない場合があります。



5 名人誘い

- ① 誘いを開始したい水深(棚)まで仕掛けを落とし、クラッチをロックしてください。
- ② Aスイッチ、Bスイッチを同時押しすると、押した水深(棚)を起点に名人誘いモードに入り、誘いが繰り返されます。(名人誘いモード中は図のように速度表示が点滅します。)また名人誘い中にスイッチAを押すとスピードアップ、スイッチBを押すとスピードダウンします。(10段階変速、初期設定5)
- ③ 誘いを止めたい時や自動巻きしたい時は巻き上げスイッチを押してください。巻き上げスイッチを1秒以上押し続けると自動巻きになります。巻き上げスイッチ左右同時押しすると、追い食い巻きになります。
- ④ 名人誘いを停止して再度作動させたい時は、名人誘いがスタートした水深(棚)より50cm程度巻き上げ、クラッチOFFして元的水深(棚)に戻れば、名人誘いが再スタートします。
- ⑤ Aスイッチ、Bスイッチを再度同時に押しと名人誘いモードが解除になります。名人誘いの誘い棚を変えたい時も一度名人誘いモードを解除してから誘い棚位置の変更ができます。
- ⑥ 名人誘いは名人誘いモードを解除しない限り、その水深(棚)に仕掛けが到達すると、自動棚停止して、名人誘いが再開されます。



*名人誘いは湖底の起伏、湖流により水深が変わると上手く作動しない場合があります。糸の出方を考慮して、名人誘いスタート水深(棚)を決めてください。名人誘いは水深2.0m以上で作動します。
*誘いスピードや電池残量、オモリ負荷等で誘いスピードが不規則な動きをしたり、誘い幅、誘い上下幅に誤差が出ることがあります。
*使用しない時は名人誘いモードを解除してください。

お手入れの方法

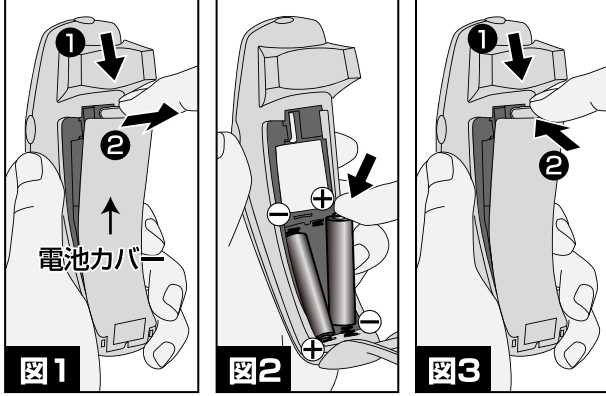
- 巻き糸やリール本体には、潤滑剤やコーティング剤を使用しないでください。作動不良・樹脂の破損などの原因になります。
- 各部分に付着したゴミ・砂・水分などは真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取り、スプール・電池蓋を外して電池を取り出し、十分乾燥させてください。シンナー・ベンジンなどの揮発性溶剤は絶対使用しないでください。変形や故障などの原因になります。

操作方法

1 電池仕様機種での電池の入れ方

- 電池カバーを**図1**の様に開けてください。
(無理に力を加えると破損する恐れがあります)
- ⊕と⊖を間違えないように入れてください。(図2)
- 電池カバーを**図3**の様に閉めてください。

※寒い環境下で使用される際は電池の性能が発揮出来ないことがあります。

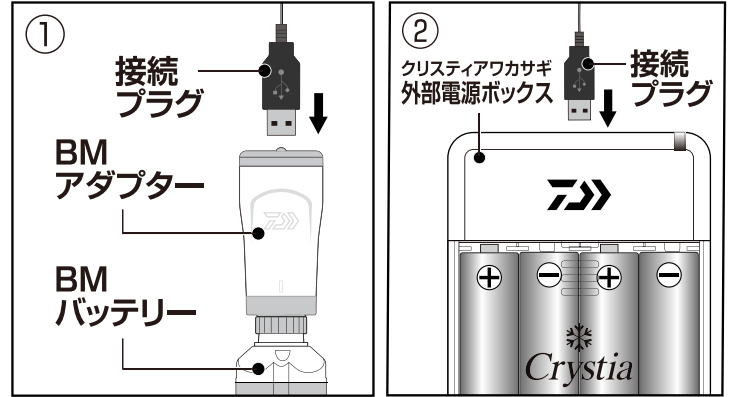


1 外部電源機種での接続方法

推奨バッテリー(別売)に接続プラグを差し込む。

推奨バッテリー

- BMアダプター + BMバッテリー
- クリステリアワカサギ外部電源ボックス



2 電源の入れ方・切り方

- スイッチAを2秒以上押しと電源が入ります。
- 電源を切る際も、スイッチAを2秒以上押ししてください。
(電源ONの状態でも1時間放置しますと、電源が自動的に切れます。)



3 道糸の巻き方

- スプールに糸を結び、スイッチAを押し電源を入れてください。
- 船べり停止ガイドに通さず、巻き上げスイッチを押し均等になるように巻いてください。(カウンターは目安としてお使いください。)
- 道糸にナイロンやフロロカーボンラインを使用する際は、強いテンションで巻くとスプールが変形して破損する場合がありますので、ご注意ください。
- 魚が掛かったり、仕掛けを回収する際は左右どちらかの巻き上げスイッチを押ししてください。1秒以上押しと、連続巻きとなり、指をはなしても仕掛けを回収する事が出来ます。

4 ロッドの取り付け方

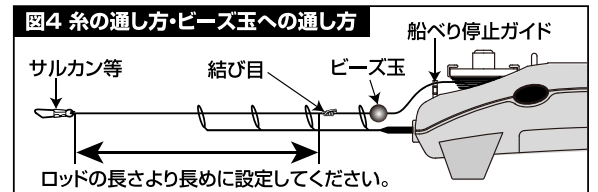
- リールのロッド取り付け穴は、Φ5mmとなっています。
- ロッド取り付け穴に奥まで挿し込み、しっかり固定されている事を確認してください。(振動で緩む事がありますので、使用中は時々ご確認ください。)
- ※強く差し込むと抜けなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

5 糸の通し方・ビーズ玉への通し方(図4)

- 糸の巻き過ぎによるロッドの破損を防ぐために、図4の手順でビーズを糸に通

- スプールより道糸を引き出し、船べり停止ガイドに通してください。
- 次に船べり停止をさせるためのビーズ玉(直径約2~3mm)を通してください。

- ビーズ玉の手前にビーズ玉が通らない結び目を作ってください。巻き上げ時、結び目がビーズ玉を引き上げ船べり停止ガイドに当たり モーターの回転が止まります。
結び目から、サルカンなどまでの長さをロッドの長さより少し長めにセットすると巻き込み防止となります。
- ビーズ玉は、ロッドのガイドをスムーズに通る物を使用してください。



※図のビーズ玉・結び目・サルカン等は本製品には付属しておりません。

6 糸の出し方・止め方

- クラッチレバーを右側に倒してください。スプールフリー状態になり、仕掛けを落下させる事が出来ます。
- 棚に到着したら、クラッチレバーを左側に倒すか、巻き上げスイッチを押すとスプールがロックされます。
(巻き上げスイッチは、電池残量が少ないと動作しません)

7 ラインストッパーの使い方

- スプールに3箇所付いているラインストッパーに糸を引っ掛けると、毎回同じ棚で停止させる事が出来ます。
(柔らかい糸をお使いの場合は、外れることがあります。その際は2重に引っ掛けてください)

8 電源OFFにした時のデータ保存

- 一度電源を切っても水深カウンター以外は電源を切られる前までの設定条件はメモリーされており、再設定の必要はありません。